

第15期(2026年3月期)

決算公告

(2025年 4月 1日 から
2026年 3月 31日 まで)

兵庫県西宮市高畑町4番27号

伊藤ハム米久フーズ株式会社

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	19,213,433	流動負債	15,071,763
現金及び預金	8,174	買掛金	7,450,859
売掛金	8,095,856	未払費用	232,912
商品及び製品	3,572,438	リース債務	44,487
原材料及び貯蔵品	7,067,287	賞与引当金	899,315
仕掛品	360,359	役員賞与引当金	5,474
前払費用	42,026	未払金	2,515,299
未収金	50,289	未払法人税等	76,879
立替金	17,000	未払消費税等	3,642
		預り金	12,284
		関係会社預り金	3,830,607
固定資産	8,219,450	固定負債	120,775
有形固定資産	7,486,998	特定従業員退職給付引当金	76,558
構築物	506	リース債務	40,186
機械装置	7,280,504	資産除去債務	4,030
車輛運搬具	11,076		
工具器具備品	84,458		
リース資産	76,994		
建設仮勘定	33,458		
無形固定資産	11,542	負債合計	15,192,538
ソフトウェア	11,542	純資産の部	
		株主資本	12,240,344
		資本金	90,000
		資本剰余金	12,205,784
		資本準備金	-
		その他資本剰余金	12,205,784
投資その他の資産	720,908	利益剰余金	△55,439
前払年金費用	550,087	利益準備金	22,500
繰延税金資産	164,566	その他利益剰余金	△77,939
その他	6,254	固定資産圧縮積立金	-
		別途積立金	-
		繰越利益剰余金	△77,939
		評価・換算差額等	-
		その他有価証券評価差額金	-
		繰延ヘッジ損益	-
		純資産合計	12,240,344
資産合計	27,432,883	負債・純資産合計	27,432,883

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

市場価格のない株式等
以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産

商品及び製品

先入先出法による原価法

仕掛品, 原材料及び貯蔵品

月別移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産

(リース資産を除く)

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいて
おります。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金

役員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の
見込額に基づき計上しております。

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法
については、給付算定式基準によっております。

・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数(12年)に
よる定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定
の年数(12年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理して
おります。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との
販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。

当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に
移転される時までの期間が通常の期間であるため、商品又は製品の出荷時点において
充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、
輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を
認識しております。

当期純損益金額

当期純損失 82,787千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。